

1. 件名：「大間原子力発電所の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(85)」

2. 日時：令和2年7月1日（水）10時00分～11時39分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、田上上席安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官

電源開発株式会社：原子力事業本部 原子力技術部 部長 他10名（テレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その11）
- ・ 大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その11）
（補足説明資料）
- ・ 大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その11）
（dF断層系に関わるボーリングコアの地質柱状図，コア写真及びBHTV画像）
- ・ 大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について（地震・津波関係）

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	はい。原子力規制庁タガミです。それではこれから概ね消火発電所敷地の地質地質構造、コメント回答その 11 ヒアリングを開始したいと思います。
0:00:19	電源開発さんのほうから御説明をお願いいたします。
0:00:27	電源開発の伴です。おはようございます。本日もよろしくお願いいたします。
0:00:33	それでは今のタガミさんから御紹介がありましたように、本日は、
0:00:38	今年の 5 月 21 日の第 862 回しんきん会合で出されました引きの地質地質構造、
0:00:48	コメント回答その 11 ということで、
0:00:51	重荷でf断層系のお話になりますが、西側会計の連続性の話。
0:00:59	それとでFa断層の延長部にあります設定値褐色で砂上程する箇所の説明。
0:01:06	その 2 点に関わる指摘事項について該当することになります。
0:01:12	今回のコメント回答でcf断層系に引き続きまして、dF断層系の評価についてを収束させたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
0:01:22	それではまずお手元に配付させていただいてます。本日の説明資料について確認させていただきます。
0:01:30	本日の説明資料はコメント回答その 11 ということで、
0:01:36	まずホームページ資料。
0:01:39	それから、2 冊目が補足説明資料となります。
0:01:44	それとですね並びに企業配付資料といたしましてちょっと厚めの資料をご用意させていただいてますが、
0:01:52	利用費f断層系に関わるボーリングコアの地質柱状図、
0:01:56	ここは写真及びボアホールテレビ画像というものの資料としては計 3 冊になります。
0:02:05	それからお手元にですね。
0:02:09	査会合における指摘事項についてという。
0:02:12	コメントリストがありますが、本日の指摘事項につきましては、
0:02:19	一番最後のページですね、16 分の 16 ページ。
0:02:23	そこにS2-140 棟数 2-141
0:02:28	二つございますが、こちらを
0:02:31	指摘事項についての回答を本日の説明資料に反映させております。
0:02:38	それとあと、若干補足になりますがこの資料中、先日 6 月 19 日に開催いたしました。ええと基準津波の策定に係る
0:02:49	審査会合の指摘事項についてはまだ村泊面談で確認が行われていないので、

0:02:55	本日の資料にはまだ反映しておりません。
0:03:00	それでは本日の資料についてですね、説明に入ります。
0:03:06	説明は年式の地質地質構造担当しております。区長のクマザキの方から 30 分程度で御説明いたします。
0:03:16	それではお願いいたします。
0:03:20	電源開発のクマザキですね、本日はよろしくお願いいたします。
0:03:24	本編資料のローマ数字 1 ページをお願いいたします。
0:03:29	ページを本日のコメント回答する内容となりますけれども、5 月 21 日の審査会合で出されていて事故となります。
0:03:38	まず一つ目の S2-140MWでございますが、時Fa断層と上載地層である大畑層との関係についてのものございまして、時Fa断層想定延長部であるE-4 孔のボーリングコアへ赤褐色ですな情景する箇所がございます。
0:03:55	これを入江増えたそうではないと判断した理由を記載することで、これはP4 以外のボーリングコアについても同様な性状を呈する箇所の有無を確認の上認められる場合はその成長に対する反対理由を記載することというものでございます。
0:04:11	それから二つ目、S2-141 ですが、dF断層系の西側海域への連続性に関するものでございます。次の二つの内容を整理設置整理して説明するものということで、一つ目がdF断層系の特徴である南側落下の正断層センスの変位の根拠と、
0:04:30	なる西側海域のRIFa断層以深にFC断層を示した断面図における鍵層の認定退避の確認状況がもう一つは、見かけの鉛直変位量の関係を含め、西側海域に分布するdFへFC断層が陸域乗りFT単層であると判断した根拠、
0:04:48	これらを整理し説明するというものでございます。
0:04:52	次のローマ数字 2 ページをご覧ください。
0:04:55	コメント回答の経緯をお示したものでございますが、下から 2 番目、前回、第 862 回審査会合で、cf断層あり得る断層系の評価結果を説明したところでございますが、稜断層系の活動性評価については理解いただいているものと思いますが、
0:05:15	宮利Fa断層と大原層との関係、硫断層系の西側会計の連続性について説明性向上のための根拠データ整理を追加した上で説明するよう指摘を受けてございます。今回説明に当たりましてはこれらの指摘の
0:05:30	ありました根拠データを整理して説明するものでございます。
0:05:35	次に 3 ページのフロー祭りの 3 ページでございますが、BAFだと系の強化につきまして、前回審査会審査からの主な変更内容を示しております。

0:05:46	まずコメントS240 関連についてですがえDNAでA断層と上載地層である大畑層との関係について、BDPA段差の想定延長部である、P-4 個 39.6 から40.2m付近の箇所特定する部分は大型装置の箇所区域であり、断層ではないと判断した理由を記載して、
0:06:07	また大型途中のか職歴や砂状徹底する部分はFa断層の想定延長部以外にも認められることから、Fa断層に関係するものではないと判断されることを説明いたします。
0:06:21	次のコメントS2E141 関連ですが、
0:06:25	df断層系の西側海域への連続性について陸域のDEM断層系と海域の断層系の分布性状の特徴を整理し、海域の断層系は陸域のDKPdF断層系と同様の特徴南側落下正断層センスを示すことから、
0:06:43	海域の断層系割引がだdF断層系と同じ理由だと系統として管理されることを根拠データとして説明いたします。
0:06:51	特に込ま変更内容として記載をしていないんですが海域の断層系について少し圧壊を変更しております。ちょっとページが先になるんですが、2-38 ページをご覧ください。
0:07:07	2-38 ページおり断層系への調査評価の最初のページになりましたフローが書いてありますが、右下注職務にいうところに、その扱いを書いてあります。で見ますと、会期のdF断層系につきましては、個別の断層名を区別しないこととして、
0:07:27	一括してまとめて扱います。
0:07:30	運営ということに書いておりまして、ただ図面の表現など、説明の便宜上は会計のdF系の断層括弧dF断層と考える断層等として、この主力本資料ではそういう形で表現する。
0:07:45	それということで、それでそういうこととして変更しております。ただ図面ではまだ便宜上、2FAとかBFcとかないと説明が
0:07:58	しにくいところもございません。そういうところの部分は残してある部分もございません。
0:08:04	どうも戻りまして、ローマ数字の 4 ページをご覧ください。
0:08:11	今回の説明公式になりますが、前回審査資料のコストを
0:08:18	ほとんどPARの基本的には同じでございます。ただいえる断層系の評価のところを最初冒頭のところに米印をつけておりますが、先ほど申し上げましたように、会計の断層系はまとめて評価しておりますので、陸域のだったリリーフ断層系との分布性状の特徴の共通性たらまた教えて。
0:08:38	リーフ断層系として評価されるという注釈を加えております。
0:08:43	本日この内容で御説明していきたいと思っております。

0:08:48	うん。
0:08:50	次のこちら下がって一緒に概要がございしますが、がらみといったこと今度向こうがありませんので、ちょっと飛ばして御説明したいと思いますが、一部要請した部分についてご説明したいと思います。
0:09:07	まず、1-27 ページをご覧ください。
0:09:13	1-27 ページを均質性断面図を示したのですが、ここで共同と申し上げました海域の右上のところに海域のdF断層系が記載しておりますが、これについては、
0:09:29	先ほど申し上げた通り個別の断層面を区別しないで扱うということでも左下の図面の左下昼食をここにも付け加えておりますが、最近のdF系の断層をf日及びF23 断層と考えられる緒元しまして、
0:09:46	ただ、その延長は断層名をO2FAとかFCというふうに負担として期待するという形でこういう昼食をつけておるというところで修正しております。
0:09:59	だから、
0:10:01	うん。また、1-33 ページをご覧ください。
0:10:06	本来このあの断層の一覧表を載せておりますが、ここもですね、
0:10:11	右下に注釈をつけておりまして、そう中でやはりFaDFCとか書いておるんですが、会議のdF断層系の断層壊れておりますので、これについては、表現としては海域のdF断層系の断層括弧DFAc及び普通に3断層と考えるやつなんですけれども、
0:10:32	ここでは2F氏へお越し或いは2F23断層に含めて記載するというような注釈を超えております。以下同じような図面とか、表が出て参りますが、このような注釈をつけて修正してございます。
0:10:49	それから、1の35ページをご覧ください。これは敷地の断層等の新旧関係経営に関わるものでございますが、左側の模式図がございまして、
0:11:05	左上のところの破線の部分ですね、OSLDFCFではなくて、sF断層系の審査の状況を踏まえまして、日英内容をちょっと書いております。
0:11:17	以前は破線の中、SAA sF1断層sF1断層の活動終了できとしましてフィリブサイトの生成年代を記載しておりますけれども、
0:11:28	政府の審査、状況を踏まえまして多重逆解法の検討による活動終了時期いないように、こうしております。
0:11:43	うんにつしまして
0:11:50	概要の修正はそのようなところで2に延長をとcf断層系の調査評価ありますがここについては修正等ありませんので、本日の説明は内させていただきます。
0:12:05	すいません2-1ページから政府の調査評価の説明内容見ますけれども、

0:12:13	そこは本日はちょっと割愛させていただきたいと思います。
0:12:17	2ー37 ページからdF断層系の不要になりますが、
0:12:26	2ー38、先ほどちょっと御説明した 2ー38 ページが調査評価の流れでフロー示しておりまして、その内容については、特に変更ございませんけれども右下の注釈 2 をつけたものでございます。
0:12:42	うん。
0:12:43	そういうふうに
0:12:44	うん。
0:12:46	2ー41 ページをご覧ください。
0:12:50	それで、
0:12:53	ここから 2 の 41 ページから 7 ページに新たに陸域委員陸域のdF断層系の分布性状について説明しておりますが、基本的には内容については変更ありません。ただその証言と、これ中性子低と所ございまして、
0:13:10	先ほど右上のdF断層系もそうなんです
0:13:14	ええ、dF断層系を示すのオレンジの破線の枠で示して囲っておりますが、これを陸域とあと西側海域の調査に二つに分けてございます。
0:13:27	あと、
0:13:29	後で御説明SAするんですけども、西側会見説明出てくるんですが販社後段探査断面とかモーニングが南のほうにございましてそれを使って評価検討評価しておりますが、
0:13:44	その範囲を含めるですね、南側へ
0:13:51	オレンジの破線を広げて修正しております。
0:14:00	それから、2ー45 ページをご覧ください。
0:14:05	これは陸域の分布ということでこの陸域の調査範囲を示しておりますが、先ほど申し上げた通り、
0:14:14	左に下のほうにですね、IT66－Eという斜め矢印がありますか、この
0:14:22	これ、
0:14:24	このようなボーリングとか、あとここには示してませんが、探査データがございしますが、反射法探査データがございしますので、
0:14:31	この関与も踏まえまして陸域の調査範囲を広げて修正しております。
0:14:37	だから、
0:14:42	2ー47 ページに陸域の分布がまとめてありますが、ここを少し説明を加えております。
0:14:53	局所の最初のところですが、

0:14:59	陸域の分布のまとめとしまして陸域においてdF断層系へは主にENE痛むSSW走向で分布し深部で収斂する分布を示すという断層がすべて南側落下のセンスを示し分布及び変位センスの共通性から一連だと判断されます。
0:15:17	ということで、こっちへと陸域のまとめということで説明を超えております。
0:15:26	次のページ 2-49 ページからがご指摘のありました西側海域への連続性の検討ということになります。最初に位置図を示しておりますがこれについても先ほどお話ししましたが、
0:15:42	南側のIT66-Eの職を含めまして会期の調査区域調査範囲を広げて修正しております。
0:15:52	それでここではキャプションに示しておりますけれども、陸域のDFいえいえCDF2 及びF-4 断層あかん参照伝説連続性良く分布しますと、
0:16:04	この 4 断層については、伊勢藤井断層を挟んで
0:16:09	連続すると考えられることから、dF断層系の西側区域に連続すると連続性を検討するとしまして、
0:16:17	次のみの 50 ページに検討方針をちょっと 1 ページ、加えております。
0:16:25	2 の 50 ページですけれども、これら四つの断層のうち、見かけの鉛直変位量が大きく連続性のよいEDFSCいい断層を代表としまして、以下示しておりますが片括弧 1 から 4 の手順で検討します。
0:16:43	過去 1dF断層系タイ政府断層系の区別としまして、敷地の北側の陸域ではdF断層っていう西側海域にはsF断層系と陸域の利上げリーフ断層系の延長と考えられる海域の断層の分布、
0:16:59	このプリン先生に基づき、海域の断層系は陸域のdF断層系と同じ断層系として分類され、sF断層系とは異なることを説明いたします。
0:17:08	また、ここに陸域のdF断層系の分布性状の特徴としまして、陸域のdF断層系のうち、見かけの鉛直変位量が大きく連続性のよいDFAc断層代表としまして、／分布性状の特徴を宣す傾斜方向深部への連続性を詳細に制定いたします。
0:17:27	次に片括弧 3 海域の断層系の分布性状の特徴としまして海域の断層のうち、陸域のDFAc断層の延長と考えられる計器の断層について、陸域のDFAc断層と同様の分布性状の特徴を有することを確保。
0:17:43	最後片括弧 4 陸域のdF断層系とは会計監査決算の特徴としまして、長期以外の特徴について分析しまして、海域の断層を陸域のdF断層系と同じdF断層系として分類した考え方をし、
0:17:58	お示しいたします。
0:18:00	ページ一つめくっていただいた 2-51 ページですが、最初の片括弧 1dF断層系体制断層っての区別ということで、

0:18:10	その人ございます。では立地部長のところですが、陸域のdF断層系については、後で御説明するところがございますが、EW、UD、EWSWの
0:18:27	層厚でこの内鉛直変位量が大きく連続性のよいFPC断層は変位センスが正断層南側落下傾斜方向が南傾斜。
0:18:37	一方、ピンクの枠で囲っておりますけれども、sF断層系は主に南北方向の走向で変位センスが横ずれ、やはりdF断層系とは分布変位説が異なります。
0:18:50	ということからなる断層系とは別の断層系としてくれとしております。
0:18:55	なんか会計の断層系につきましては、これも後述しますが、陸域の断層理由断層系と共通の特徴変遷する傾斜方向を要することから陸域のdF断層系と同じdF系断層として、
0:19:10	dF断層系として運転しております。
0:19:13	人がいましてSF断層安芸灘速度はsF断層系とは異なる断層系というふうに判断しております。
0:19:21	次に 2-53 ページをご覧ください。
0:19:25	陸域のdF断層系の分布性状の特徴をということで、
0:19:31	引き込み岐阜ACA断層代表としまして、下の表に示しておりますが、鉛直断面ボーリング或いはコアのCTごとをにおきまして、分布の性状が特徴分布性状の特徴を変遷する傾斜方向支援へ深部への連続性を詳細に整理しております。
0:19:53	うん。
0:19:53	議論を次の 2-54 ページ、まず
0:19:58	本建設傾斜方向ということで、日f指針につきまして、
0:20:03	二つの鉛直断面元ボーリングによりまして返信する傾斜方向を確認しているものでございます。
0:20:10	うん。
0:20:12	ボーリングコアでここにされるDF線延伸いたすわけにはその欠損が認められるから正断層センスであり、あと分裂ボーリングで確認される断層の連続性から南傾斜を示すと。
0:20:27	いうことから、PFSC断層は南側落下の正断層ということがあります。
0:20:34	うん。
0:20:35	次のmean-55 ページをご覧ください。
0:20:39	今度コアのCT画像を示しております。これはXI-XI'断面上のP-参考のPFSリFa断層の地域いいこと解析良いですが、
0:20:53	中央下のCT画像これ鉛直断面になりますが、複合面構造が南側っ放し正断層センスを示しております。

0:21:02	また右下のCT画像と水平断面ですが、複合構造を含む面構造は明瞭で横ずれセンスは認められます。
0:21:13	運営ということで、先ほどの二つの実質あまり示されたような南側落下の正断層センスにこの結果は整合的であるということが言えます。
0:21:24	2-56 ページですが、
0:21:28	これまた別のそれを同じ断面の別のR2h8 孔のCT画像解析でございますが、同じく中央下のほうに仕事の鉛直断面でありますが、湖面構造は南側落下の正断層センスを示しており、
0:21:46	また右下の制度面のCT画像については、個目構造不明瞭に横ずれセンスは認められます。
0:21:54	先ほどと同じように、地質断面で示される南保ヨーロッパの正断層センスに整合的でございます。
0:22:02	次に 2-57 ページ、今度はシンプルの連続性ということで、何度この実践鉛直断面図、によりまして深部への連続性を整理しております。
0:22:13	うん。右側に理由断層系がございますか。深部で収斂しておりまして、断層の下方延長部HPマイナス 300m付近に分布しております酸性凝灰岩H25 というのがございますが、これに変位が認められないということから、
0:22:29	リーフ断層系はTPマイナス 300mより深部には連続しないと判断されます。
0:22:35	2 の次の 2-58 ページを今この御説明しました陸域の理由断層系の分布性状の特徴をまとめたものでございます。
0:22:47	次に、
0:22:49	2 の 60 ページをご覧ください。
0:22:54	今度は片括弧 3 海域の断層系の分布性状の特徴をとしまして、
0:23:02	陸域のdF断層系への延長と考えられるか意見がださにつきまして、人の表に示しておりますが、大気の参考の地質断面a、あと反射法深度断面、解釈という、それとこのCT画像をにおきまして、分布性状の特徴。
0:23:20	温泉設計者方向深部への連続性を詳細に整理しております。
0:23:25	うん。
0:23:26	次の
0:23:27	2 の 61 ページですが、左側の左側ですね、2 期ば会期エアコン赤丸で囲っているところが西側海域の 3 高校に国もありますが、会計のdF断層系の断層の分布性状のみと同様の
0:23:46	失礼が分布性状を確認しまして陸域と同様の分布性状の特徴変遷する傾斜方向を有することを確認するということで、2 の 62 ページは三坑ホールディングの

0:24:03	オフィスだめですこれは前回審査会合をで載せている地質断面でございますが、それに加えて、主そっちの鍵層である酸性凝灰岩AT以降、AT7H17 億円追加して、
0:24:20	表示しております。今これを見ても、2 条の断層が南側落下の正断層センス、皆さんと一緒に示すことが、
0:24:30	この鍵層の運営した
0:24:35	元のデータということで補足の 3-32 ページ。
0:24:41	をご覧ください。
0:24:45	ご覧ください。
0:24:47	3-32 から 30。
0:24:54	37 ページまで根拠を示しております。3 の例えば 3-32 ページですと酸性凝灰岩AT5 日韓地形するとう写真二つ並べてその 6 人バン 2 とS-5 まで並べておりますが、At後の特徴。
0:25:11	これ費を含んで酸性凝灰岩下部に繋がる諸君させようかであるということで、厚さ 10 センチだった。
0:25:19	これに伴って教員に
0:25:24	酸性凝灰岩泊層が水色の点線で囲っておりますが、こういった分布パターンで出てくるところで、同じようなパターンで出てくるの対比しているという根拠を示しております。
0:25:41	これは規模でございまして、えっと次の 3-33 円はAT-7、同じように、
0:25:49	どう対比されるかということを斜線で説明しております。34、3-34 ページのPTの立地が 3-35 がATの 17。
0:26:00	3 の 36 番、PT-としてA3 の 37TTなさって同じように写真を示しまして、お諮りした根拠を示してございます。
0:26:15	あと本編戻りまして、2 の 63 ページをご覧ください。
0:26:21	どうぞ。
0:26:25	そうですね。うん西側海域 0
0:26:28	硫エイタスと今後の夏頃補足しております半焼更新のために、僕がございまして、この反射を深度断面と測線近傍のボーリングを用いてシンドロームの解釈図を作成しております。これのこれを持ちまして、いきなり古い
0:26:47	断層リーフ断層と考える断層の建設に執行検討しております。
0:26:53	次の 2-64 ページはその深度断面、解釈図になります。
0:26:58	A断面図の左側、左側に赤いに太い破線で示しているが、dF断層でございます。

0:27:07	反射断面で見ますと、主遡上面、青い破線で書いてありますが、これが約 50 メーター南道路を正断層変位を示す中角度の南傾斜の断層として判読されます。
0:27:22	あともう臨空でもですね、非常に向こうにある中ですが 6624 孔の深度 90m 付近
0:27:30	それと斜めボーリングの IT-66-2 孔の深度 200K10 メーター付近でこの断層を確認しております。
0:27:39	いうことから、南側六戸の正断層センス皆さん気象示すことが起こります。チャンバ IT66 人の岩相確認した根拠としまして、補足の 3-47 ページをご覧ください。
0:28:00	3-47 ページには柱状図を置こう写真示しております。ここは写真の右側に拡大参画で DF だとして書いてあるところがちょっと JF だと考えられる破損になります。ここでボアホールテレビを想定しておりますそれは次の 3-48 ページ。
0:28:18	ありまして、
0:28:20	この後のテレビやから判断される断層の方向性なんですけれども、これ眼中ほどに黄色い考えますけれども、N-41° E 銀行 18° S、A と判断されます。先ほど層厚設定が先ほどの
0:28:37	波食深度の解釈図。
0:28:40	への断層傾斜に調和的なかったということは起こります。
0:28:47	あとはホームページに戻りまして、2 の 65 ページをご覧ください。
0:28:53	うん。
0:28:55	はい。
0:28:56	これは会計のボーリング海域の参考のボーリングのうち S-601 個を DF へのと考えられる断層の CT 画像解析でございます。
0:29:06	徴収したのは CT 画像鉛直断面によりまして複合面構造は粘土状破碎部の上半分くらいはバンのある資料感知明瞭に認められております。これはあの南側落下の正断層センスを示しております。
0:29:23	夕方右下の水平断面です。
0:29:25	では、ここ面構造は、左横ずれのセンスを示しております。
0:29:31	ね。
0:29:32	うん。この 601 項の場所ではですね、当行写真と仕事上一番上の写真と真ん中の CT 画像に当たり膨れ軽石の変形と矢印で示しておりますが、
0:29:47	そこで引きずられたような形状を示しているのがわかると思いますので引いてパートではちょっと、或いは密度が低いとらて密度であるのでちょっとずつぐらい感じで、

0:30:00	分布しているんですが、その拡大した写真が2-66ページになります。
0:30:08	第1のa、黄色い点線で囲んと部分、これは株主になります。
0:30:15	この引きずられたような形状方ナースとこの正断層センスで卓越しているということが読み取れるかとところでございます。
0:30:30	えっと次の2の67ページ。
0:30:35	これまた別の椅子の6月にRELAPと考えられる断層のCT画像でございます。
0:30:43	所も同じように中央下の日規模と鉛直断面によりますと、複合面構造は断層面付近、宇和盆地明瞭に認められまして、南側落下の正断層センスを示しております。
0:30:57	また右下の右隣二つ断面制度もございしますが、こう面構造は、Y面とRアンド降格が計画横ずれセンスがわずかであるということから、正断層センスが卓越するということが簡単判定されます。
0:31:14	以上違うまして、
0:31:17	日規模等による変位センスを南側落下の製造それではそうセンス主体で1人置くずれを伴うものと判断され、
0:31:25	三坑ボーリング地質断面図で示されて南側落下の正断層センスに矛盾しない。
0:31:33	68ページですが、赤い深部への連続性、お示しております。先ほど示したシンドロームとなりますけれども、
0:31:43	うん。
0:31:44	赤い服を下線で示したdF断層と考えられないんですけども加工延長にはですね、紫の破線で示した玄武岩状面のお話がございまして、正断層運用方針させるいろんな南側落下のずれが認められないことから、
0:32:00	お招き深度300mより深部には連続しないって考えております。
0:32:06	2の69ページはこれはもう今御説明しないと海域の断層系の分布性状をまとめたものでございます。
0:32:14	2-70ページ、このその他の特徴として、見まして、
0:32:21	陸域のリーフ断層を海域の断層を目指す考えられる断層の断層面コンター図を作成して分布を検討したものでございます。
0:32:30	そこについては、陸域の平原系からsafetyを挟みまして、海丘dF系断層O-netにSW系に変化して連続するというふうに考えております。
0:32:42	あと、断層面コンターから配走走向傾斜が見かけ鉛直変位量のほうに、いや、そうなりますけれども、海域の断層がさっきの説明で南側落下の正断層の特徴を有しておりまして陸域のdF断層系の延長に連絡し、

0:33:00	説明それからありFだとき以外には考えられないと
0:33:05	判断しております。
0:33:07	いや、
0:33:10	2ー71 ページがこれはやはり説明した内容をまとめたものになります。
0:33:23	当時考えなくて、
0:33:25	します。
0:33:27	次に
0:33:29	農政評価ということで、ご指摘のありました。
0:33:35	ところで、
0:33:37	2ー80 ページをご覧ください。
0:33:40	280 ページはご指摘のありましたPー4 個を寄付だその作って延長部のか職歴に関係するものでございます。今回食育へ 30m区間についてにつきまして確認しております。左のコア写真で確認しております。
0:33:57	一部その部分的に砂状を呈するところがあるんですけども断層を示唆するせん断面a粘土状破碎部が認められません。ご指摘のありました区間に褐色利益があるんですが陸上の構築物が参加して褐色化したものと考えられまして、
0:34:16	加速の一部、二相の状態する部分がありますけれども、上下面がほぼ水平であってサボ時の細かい点で崩れたものというふうに考えております。早速 6 については想定断層以外にも、
0:34:31	例えばkwで囲っておりますが、深度 49.65 メーターこととか、あとこのボーリングでも認められることから、これはまあDF0 と断層には関係しないものと判断しております。その他のボーリングコアの例でございますが、これは補足説明資料の 3ー70 ページをお願いします。
0:34:56	3 のままで提示をにはですね左の断面で出しておりますか、断層の延長部ではなくて、Pー3 コピーの方向の赤枠で示してあると思います。それを写真で示した右側になりまして、右側の
0:35:11	色枠で囲った部分に設計石化職歴が認められております。これら家職歴とその周辺ではですね、断層を示唆するセンター目粘土状破碎部は認められません。
0:35:24	参加変質を受けて果たしましたので終わった後に取り込まれたものと考えております。何でリレー断層に関係するものでないというふうに考えております。
0:35:36	なんかですね、その同じで 2 ページの周辺に単層が分布しない場合赤丸でIT 二十一、二十 2 坪ありますけれども、このお示ししたのが 73 ページにあります。黄色い降雪深でできる枠で囲った部分、ここに褐色適合性、

0:35:56	9月のいずれもせん断面と認められませんが、効果と黒くこられるんですけどもこれは結束力が七つのためにそういったもので断層に関するものではないと判断します。
0:36:11	いや、本当に戻りまして、
0:36:19	2-93 ページですか。
0:36:22	貯金取り断層系の活動性評価のまとめということで、これを求める装荷については、次に内容書いておりません。ので、
0:36:35	はい、わかりません。
0:36:37	2-95 ページは転貸の断層の評価のまとめでございますがこれについても、基本的に内容については書いておりません。
0:36:47	説明を説明は以上となります。
0:36:53	は以上ですよろしくお願いします。
0:36:57	はい、規制庁タガミです。
0:37:00	まず執行の全体的なところで確認ですけど、右上のところに積もるように再掲と書きちゅう修正って書いてるところはこれまでの資料を、そういうふうに直したり再掲してもらっているところで、
0:37:16	それ以外に空欄だったり、コメントのNo.書いてるところは、今回新たに追加されたということでよろしいですかね。
0:37:28	クマザキです。その通りでございます。
0:37:33	はい、確認しました。
0:37:36	それでは事務局案に確認させていただきます。
0:37:45	まず最初に 1-27 ページをお願いします。
0:37:54	今回時敷地勢力のそれぞれのその海域のdF断層系っていうものについて、
0:38:04	まずかも。
0:38:06	この辺目とかは注釈がいたりした方について、続いてdfAとかCというところまで書いてる内容を残してるっていう意味でこの注釈作ったのをつけられてるんですかね、ちょっと確認なんですけど。
0:38:23	介護でのコメントとしては陸域のDFAとか、特定の断層かどうかっていうのが確認できてるんだったら、説明してくださいっていう趣旨だったと思うんですが、
0:38:38	つまりNo.せずに前のGFAとか、
0:38:43	いうのを残してるっていうのは、どういうイットっていうか、
0:38:48	やっぱりそれに繋がるようなことを考えられてるのかどうか、事業者さんのお考えを確認させていただきたいと思います。いかがでしょうか。
0:39:11	保安電源開発のモチダです。

0:39:13	ただいまのタガミさんからも御質問につきまして、私どもとしましては今回注釈でいろいろ書いてございます通り一対一で行くとBの断層から対応するという意味ではなくてですね、分布性状の先ほど御説明したら取ってる特徴からですね。
0:39:29	海域の断層系はdF断層系として判断できるということをしております。ただ先ほど冒頭のフローでございますように、
0:39:39	科医機能だdF断層系は個別の断層名というのをつけてお区別しておりませんが、あくまで説明の便宜上ですね、話から説明しにくいので、
0:39:49	今回例えばDFA断層と考えられる断層、
0:39:53	というような表現で表示しているものでございます。
0:39:57	以上です。
0:39:58	はい、高見です。確認できたんですけど、例えばこの1-33ページ、断層概要っていう一覧表があるんですけど、やはりこういうところで主要な断層dF-ab cというのがあって、
0:40:15	海峡方は仮にそうつけそんな前残されてるのかもしれないけど、こういう性状のところの話をしだすと、資料上困難が生じるように思うんですが、
0:40:29	要はここに書かれてるのは陸域のDFだけですよっていう整備なのかもしれないけど、
0:40:37	ちょっとその辺は、
0:40:42	注意が必要かと見た人が混乱しないように注意が必要なのかなと思うんですが、以降でしょうか。
0:40:55	はい、電源開発のモチダです。
0:40:58	この日の33ページの表につきましては従来と同じでですね、今回でいうと、あの陸のdF断層系とあと、海のdF断層系の両入った。
0:41:11	になっております。
0:41:13	ですので、右下の注でございますけれども、海と陸両方入った。
0:41:18	表なんですけれども、その意図としては、あの会議のdF断層系の断層を今回会期として示したものです、DFSCC兄さん負担すると考えられる断層、
0:41:29	については、この表の中で、
0:41:31	陸域のDFaとcとdfNISA出せ含めて記載するということで、
0:41:37	書いてございます。以上です。
0:41:44	多分、お考えを超え聞いてたらわかるんですけど、そのいわゆるその資料は以上ですね、ちょっと考えられるとかいうことをつけられてるってということですけど。
0:42:01	ちょっと皆減通じるように思うんですけど。

0:42:06	。
0:42:07	すいません規制庁ナイトウですけど、電源開発さんとしては繋がるものとして いる繋がらない別のものdF系の一部と考えているどっちなんですか、何か資 料の構成がどっちつかずなんだけど。
0:42:22	そこははっきりしてください。
0:42:23	どっちなのかによって使用個数変わる。
0:42:28	我々が確認する事項も変わるんですよ。これdF映画会議も繋がってるって いうたら繋がってる項目全部説明してもらわなきゃいけないし、
0:42:36	GFAではないんだけど、dF系としての特徴を備えているものだって一対 一会社的なんだけど、DF軽度者等考えると、どっちなんですか。
0:42:50	はい、電源開発のモチダです。今ナイトウさんがおっしゃった後者のほうで すね、海のdF断層系はあくまでもdF断層系として繋がるということで考えてま す。
0:43:01	一対一というデータということは考えております。規制庁に対してであれば1ー 33をDFに海峡含めて、仮にナンバリングしたGFAを含めとかDFECDFにさ んを含めてdF系断層のdFAB
0:43:18	だから、何倍もの特徴の走向傾斜に入れるっていうのは、
0:43:22	V考えててですか。別もんなんですよ。
0:43:35	はい、電源開発のモチダです。
0:43:38	確かに同じDFケースであればですね、区別できなければもやっぱり先週とい う考え方あると思いますけれども、同じTFの中ではそういった考えられるもの ということで
0:43:54	ある程度グルーピングしないと表現的なところもございますので、こういった形 のまとめ方をさせていただきます。
0:44:04	そうじゃないですけど、であれば別グルーピングするべきじゃないですか、そも そもスタートが層厚が売れてますよねというところで本当にそうなんですか ってことについてdF系として説明できるんですかってことについて説明を求 めているわけなんだけども、
0:44:19	やはり層厚が運用についてはこういう形で違っているけれども、こういう特徴 があるからTF系としてできるんですっていうのがおっしゃった説明。
0:44:27	なんですよ。今聞いている限りにおいてであれば分けないと。
0:44:31	おかしくないですか。
0:44:44	電源開発のモチダです。

0:44:47	はい。没水のところ、わかりました。これ基本的にはDFABCというのとか名前つけてるのは陸域の粒径ですので、それ以外の海域であれば、海域の寄付断層系というところに、こういう流れで区別しない形にして、
0:45:05	負けることは可能ですので、検討させていただきます。
0:45:08	。
0:45:14	規制庁タガミです。ちょっとその点をご検討いただきたいと思います。
0:45:21	6 っていうのは続けます。
0:45:24	資料の 2-49 ページお願いします。
0:45:31	これはもうだけの確認なんですけど、
0:45:35	右下の箱書き 1 ポツ目って、
0:45:40	議論をし理学 2 及びF3 断層は、他の断層に収れんせず連続良く分布すると、この 2-47 参照って書いてあるんで、ここの 1 交通の話は日区域の話を最初の出だしにも書いてある通り、
0:45:57	説明してるんだと思うんですが、
0:46:02	会計のほうのDF先ほど日ナンバリングの話も関連してくるんですが、事業者が連続すると考えられるっていうふうな表現って言われてるものの話を
0:46:17	ここに書いているわけではないんですよ。これ確認だけです。
0:46:28	電源開発のモチダです。こういう 1 ポツにつきましてはあくまでも陸の
0:46:34	ここで書いております。2 の 47 ページ。
0:46:38	整理してます表の中でですね、この四つの断層が連続性をくっていうことでまあ、陸の表現として記載してございます。
0:46:47	はい、わかりました。
0:46:49	そういったこれ多分、2 ポツ目の前から戻ってるだけだと思うんですけどその連続性を検討するっていうことは
0:46:57	今日の説明でもあったけど、あえてその一対一の対応分っていうのはもうしてないっていうことで理解はよろしいでしょうか。
0:47:07	はい。
0:47:08	はい、電源開発の越智です。これ四つの断層と書いておりますけれども、あくまで今dF断層系が分布するかどうかですので、5000 通りときに、断層の個別で待避させようとしていただいているものでございます。
0:47:21	。
0:47:25	はい。
0:47:27	僕はしました。
0:47:30	それでは続けます。
0:47:33	いうこと。

0:47:35	本会計搬送がその請願その特徴示すかっていう点の確認の話なんですが、
0:47:41	2ー62 ページまで飛んでください。
0:47:51	これらの先ほどの説明聞いてたら、私どもの指摘としてはですね、このタンク断面図地質断面図に書かれている、例えば痒し凝灰岩、
0:48:05	こういったものの分布、
0:48:08	もう1分といいますか、その二つ孔があるところでのギャップですね、そういったところの退避とかそういうものを重視してコメントしたつもりではたんですが、先ほどの説明では補足の3ー32 っていう辺りを出されて、
0:48:24	説明されてたんですが、これ一つお願いですが、ほう素食うのページとのひもづけというのは、この2ー62 の中にも書いておいて欲しいんですね、それはもうお願いしておきます。
0:48:38	でも、そ補足の3ー32 年凝灰岩の対比の話をしてたんですが、
0:48:47	オスマン引っかけたのが、例えばついつい。
0:48:52	今後、
0:48:55	30 ページでちょっと違うか。
0:49:02	はい、32 ページだと。
0:49:05	これは凝灰岩鍵層の液位上って言って、その場所っていうのを示されてるんですけど、この肉眼観察以外にこの平気以降っていうものを対比してるかの根拠っていうというか、そういうものはないんですかね。こう観察の結果は、ここ。
0:49:24	にくく音波探査の結果記号っていうふうに判断している。
0:49:28	そこまでの説明かと思うんです。
0:49:37	はい、電源開発のモチダですね、まずベース或いはタガミさんおっしゃったように、肉眼観察でこういった少しいった見かけの堆積構造とかものっていうことを隠してまして。あとそれプラスレポ層圧ですね。
0:49:53	追加追加というのと、この近くにですね、
0:49:59	あるほかの鍵層との層序関係ですね。
0:50:02	上から順に見て行って、これナンバリングしてますけれども、浅いところから一番下に行くといくつと増えていくんですけども、そういった順序関係とその各層間の相関距離っていうその見えますので、ですから
0:50:17	この見た目の断層と層圧
0:50:20	それと、上下の鍵層との相関距離を視点で見た行った上で、
0:50:27	鍵層として判断しております。
0:50:34	はい。
0:50:35	説明を受け賜りました。

0:50:39	このボーリング柱状図のほうには、その人有給休暇というUD号とか、そういう見て結果も入ってるんでしょうか。
0:50:51	これは示さなくてもいいんですけど。
0:50:56	はい、電源開発のモチダです。注油図には、特に液位何番とか鍵層の流れが記載しておりません。
0:51:04	後程あくまで例えば熱い酸性凝灰岩苦しくなった場合には、中操のコラムとしてそういった漏水を記載しているということでございます。
0:51:13	。
0:51:14	はい。こうしました。
0:51:17	先ほど言われたように出てくる順番とか層圧の関係で、該当する各鍵層を特定、特定とともに呈していて、それで隠してるっていう説明だったと理解しました。
0:51:34	もう1点。
0:51:37	64ページをお願いします。
0:51:43	うん、若者の点線のところが赤の点線のところが、dF断層系っていうふうに言われていて、
0:51:52	それではもう直接断層確認しているボーリング孔を先ほどあの2点ですね、説明されたんですけど。
0:51:59	モチダも注視してる正断層的な閉院っていうものを示してるっていう特徴で言えば、
0:52:09	私が見る限りはこの後のその上端っていうところのギャップのは、
0:52:14	見られてるかどうかというあたりがそうなのかなと思うんですけど。
0:52:21	その3①とIT-66-Cという使いボーリング日本ますけど、これの方の一番下あたりは
0:52:32	込まもその上端とか易国間層の下端ですか。あたりに来てると思うんですよ、ここではその青の点線の部分確認できているんでしょうか。
0:52:47	はい、電源開発のモチダです。
0:52:49	今御指摘の点につきましてはこの64ページのボーリング柱状図
0:52:54	入っておりますS301と66-Cのところで、ちょっとこの青い線が白井副頭取があって隠れちゃってるんですけども、あの易国間層の濃い緑の下にですね、ちょっとこの図面で言いますと0.5ミリとか、それからまだちょっと水色が見えておまして、境界を確認しております。
0:53:12	はい、理解しました。
0:53:18	はい。
0:53:23	きちとナイトウですけども、当面これdF系の海側のやつは、

0:53:33	左のほうで、
0:53:38	を伴う。
0:53:41	正断層。
0:53:43	これでいいですか。
0:53:48	本当に電源開発のモチダです。
0:53:50	はい。この 2-64 ページのこの
0:53:53	赤い破線のものについては、これは参考のボーリングの断面と示してるものから伸びる同じものだと思っております、2 の 62 ページ。
0:54:03	の参考の断面図の
0:54:05	この図面上DFって書いてますけれども、この深いほうの
0:54:09	やっぱこの 1 年延長してくる。
0:54:12	と考えているものになります。
0:54:15	それでこれのボーリングの中での日朝の断面での評価としましては、見かけ正断層ずれがあります。
0:54:24	実際に今回周期でお話してるのが、ここ 3 項のボーリングのうちの
0:54:29	S の
0:54:32	601 と 6 万の 2 ですから、CPF 導入の 65 ページ。
0:54:41	これを見ますと、基本的に
0:54:45	切捨見えるのは、上盤側が下に下がるような鉛直 CT の鉛直断面 2m 正断層センス。
0:54:52	この 65 ページの右の丸い画像の政令断面のように、左横ずれ止まっていると いうかどちらか受けするかについては、下の 66 ページに、
0:55:03	痒しの変形起算しておりますけれども、
0:55:06	こういったカルチャーがですね明らかにやはり正断層的に
0:55:11	さらに引き延ばされて変形しておりますので、やはりセンスとしては全体的に見ますと正断層が卓越するのではないかなという判断をしております。
0:55:20	それと 67 ページにもう一つの S6②以降っていうボーリングの CT 画像ありまして、
0:55:27	これ見ますとですね、鉛直断面の CT 画像では、Y 面と、あれし面 P 面、
0:55:34	その関係で、正断層の変数
0:55:37	わかります。
0:55:38	一方の右のですね、水泳へパスを見ますと水平断面を見ますと、
0:55:44	Y 面に対してですね。
0:55:47	かいわいに対して聞いた上で書こうかものすごく並行に近くなってましてですね。

0:55:54	やはりこういった推計と鉛直の比較からも広告物がよりはっきり見えるのは、鉛直動のほうですので高くするのは、正断層整数
0:56:05	ということで判断をしております。
0:56:15	すみません年目ですまずはちゃんとさっき言ったように評価域等陸域で整理をして、どういうの清掃示すのかと、その計算も含めてね、まず明確にしてもらえたようにという。
0:56:30	えっとね、今聞ってる限りだとSFと何が違うの。
0:56:35	今説明するとSFの特徴を述べてくださいっていうことを考えた気がするんだけど。
0:56:46	はい、電源開発のモチダです。
0:56:48	前西風と比べるということになりますと補足資料のですね、3の
0:56:58	あと、少々お待ちください。
0:57:01	3の30ページ。
0:57:12	これ政府の方の
0:57:14	会合資料につけてる同じでございます。
0:57:18	この中を見ますと、特に
0:57:21	アノン1000席に近いのがSFになります。単発的の近いところにありますけれども、
0:57:27	政府にというのはこれこの図の中の破線で書いてる部分法の改正ふにですね。
0:57:33	電線数を、これ複合面構造テック側面という見とってというのがえると赤字で書いてるのが左横ずれです。
0:57:41	それとあとこれ条線もSFに見ておりますんで、条線当てるところも所後継者のなくなっ下のところに赤いピンク色のところで伏角分かれておりますけれども、それに出すと。
0:57:56	概ね水平に近いの方位ということで、やはり横ずれ左横ずれでございますので、
0:58:01	正断層センスがむしろ多いとするともっと女性たってくるはずなんですけれども、そういったものではないということで政府にとdF断層系との差別化できるというふうに判断しております。
0:58:26	はい。
0:58:27	これを今2度60雇用僕16の話が出たんで確認なんですけど。
0:58:34	女性の話も出たんだけど。
0:58:37	ボーリングコアの、例えばそのY面ってしてるようなところをここで高角度の条線ところが見えているんですかね。

0:58:54	。
0:58:55	電源開発のモチダです。
0:58:58	df系は、なかなか古いコアを行ったこともあるんですけども、女性の堤体乏しくてですね。
0:59:04	だから条線でデータをそろえて統計的に建設判断するということは困難ですので、
0:59:10	今回
0:59:11	より何ていうんでしょうか正逆のセンスも直接的に判断できるCT画像
0:59:17	よって、※構造として返送解析してお示しております。
0:59:26	はい。連系あのタンク動作状態が確認できてないんで便宜上ボーリングコアの軸に平行な方向のCTと。
0:59:40	コアの断面の丸いものをこの二つでということだと理解して理解をした者が、はい。
0:59:54	それと、もし今回権利ですけどその2の66で株主がこう引きずりを設けているように斜めになってるっていう説明をされてると思うんですけど。
1:00:07	多分あんですね否決されっていう感じではその引きずりのどちらかのタンク、淡水引きずりの影響を受けてる田んぼだったりに剪断面があるような印象で幹部保証考えてたんですけど。
1:00:23	ここ軽石の加味して書いてる一番上端持ったり、せん断面があるように見えないうらいですけど、これをどう考えられており、
1:00:32	考えられております。
1:00:40	はい、電源開発のモチダです。
1:00:43	今のせん断面というのはこそ売買面とか、ある1年の話。
1:00:48	だとしますと65ページのですね、和田のところにあるこれ同じあ66ページの拡大してるやつのもとの後のとこへ委託見えてますけど。
1:01:00	65ページの中のカルシウムに書いてございますがあるのですね、ある1面のこのせん断で譲れもこれ書いておりますし、あと引き延ばされたことを示してるP面を破線で示してございます。以上です。
1:01:21	1番目です。ごめんなさい、或いはというのは、2ー65ページのCPFの写真。
1:01:32	写真の一部を拡大してるのが66ページになるんで工務部門面として認定しているところが66ページのほうにもあったっていうそういう御説明でしょうか。
1:01:48	電源開発のモチダです。そうです66ページはですねこれ軽石の形状に示したいということで、ここ面構造を入れるとちょっと煩雑になって見えにくくなるものですから、PRAアイデアの管理者を会計だけ示しておりまして、実際にこの軽石の変形には65ページで示しているような

1:02:05	R1 面とかP面といった構造が見られます。
1:02:10	そのサービス 65 ページのほうは、この軽石の部分を 8 キロ 8000ppmNKして るんじゃないかと思うんですけど、それと引きずりっていうのは全然別物だっ ていう御説明でよろしいですか。
1:02:38	あと電源開発の新井でございます。ちょっと説明が錯綜してるっていう形で違 ってるところがあるかなと思ひまして、補足させていただきます。タガミさんから ご質問なりました。
1:02:53	せん断面っていうのはですね、60。
1:02:57	6 ページの左下で言うそうですね、左下のCTのそのずっと下のところには 1 って 書いてあると思うんですね、そちらのところが、断層おっしゃる主な断層になっ て主せん断面をY面で、
1:03:13	表示しています。ですので、最初のご質問になったこの軽石が引きずられてる っていうのがちょっとせん断面から離れてはいるんですけども、かなりこの 辺りの断層の形成時期から、
1:03:28	堆積以降またそれほどかたく固まっていなかったときに、称しているという断層 が形成されているということで、幅広くですね、その主せん断面から離れたところ でも、彼氏の変形とかが起きているということで、
1:03:45	そう細かい粒子のちょっと離れたところに主せん断面があるというふうに私の 理解しております。
1:03:55	多分ですね、ご説明は確認させていただきました。
1:04:05	タニです。ちょっと 2 点ほど確認したくてですね。
1:04:10	さっき
1:04:13	タガミさんのお声タニー 64 ページの反射法断面図、
1:04:17	これ
1:04:20	大畑層、
1:04:22	またその表面、
1:04:24	コメント、
1:04:27	鉄塔もそう思います。
1:04:30	これ結構ずれてますのでご 50 メーターぐらいです。
1:04:34	DFわけ。
1:04:37	50 メーターぐらいの鉛直変位かって。
1:04:40	あんまりこのさっきから説明しているケースの 6①とか、①とかで、
1:04:47	読んでるのが
1:04:50	なんか 15 メーターだとかそういう数字があると思うんですけど、この辺が違っ てどういうふうに解釈していますか。

1:05:14	電源開発のカードですえっとですね、確かにその辺はちょっとギャップがあるように思うんですけども、あくまでこの断面図は、反射法で見たときにどう見えるかということで書いております。
1:05:26	実際この断面図上においてボーリングは多少遠いですが、並んでおりまして、そこを地層境界は確実に抑えられます。したがって反射法で見るとこういうリキャップになるんですけども、それがどのように変位量が
1:05:43	このdF断層系で変換していくっていうのはちょっとそこまで詳細データありませんもんですから、ここでは見える部分に考えられるものをここで表示してるということでありましてここをその全体的に整合性をとるということならまた別の検討が必要だと思っております。
1:06:03	する整合っていう観点とはちょっと違うんですけども、／反射法断面でも、ボーリングでのなんていうんですかね、ボーリングでの地層境界をされているようなものがこういうふうに来て例えば、
1:06:20	なんでこう変位が大きく変わるのか小さい地区はあるのかの地層によって違いがあるのかとか、そういったまた考察まではされていないっていうことで理解しました。
1:06:36	あともう1点なんですけど、ちょっとONのデータは今回いろいろ並べていただいて、
1:06:46	タナカ発散部が
1:06:48	なぜ同じPFSっていう名前はやめてるっていうことなんですけど、例えば補足の3-41だとかって、S-501を見てみると結構発災とか、
1:07:01	駐車場も破碎部なんか70cmの破碎部っていう、いうふうな書き方を
1:07:07	その他の次のページだったら4cm、
1:07:11	或いは、43ページだと1から2センチ、
1:07:15	3-44ページで破碎部がない。
1:07:20	いうふうにですね。
1:07:23	なんか性状ぱっと見ると大分違うように見えるんですけども、だけどまあこれ同じdF-aで0という仮の名前出してdF-aなんだと同じ断層なんだとする何か考察があるんでしょうか。
1:07:46	電源開発のモチダです。
1:07:50	dF断層系がその断層が入っている部分の慣習によってですね、結構破碎部に力が生じてまして。
1:07:57	例えば一般的にとか基本的なというか中途バンの中に入ってる出すDF系の断層っていうのは割と密着しているものがあつた破碎部がはっきりしないものとかですね、破碎部があつてもごくわずかっていうものが多い傾向があります。

1:08:13	片岩もっと粒径大きくなってきて火山砕屑岩みたいなものに入っているGFAっていうのは、浅い部分っていうのは幅を持ってくるというふうな
1:08:21	ございますので、そういった
1:08:23	二つ入っている部分の監視の予定も違い、例えばついているというふうに解釈をする。
1:08:33	はいありがとうございます。確かに何か周辺の岩盤によってはさほど変わるっていうのは、一般的に多分あるんだと思うんですけど、それってあるんですかね例えば、
1:08:45	はい。公益とかでも同じような傾向が見えたりしても何か上手くまとめられてたりしたらすごく説得力あるなと思ったんですけど。
1:08:56	その辺は特に整理ができていません。
1:09:00	特に回り込みの比較ということで整理をしてございませせんけれども、陸についても同じような傾向ですねやはりシルト単独では密着したものだっていう破碎部と薄いという傾向や稼働性スガヤだといった傾向がございます。
1:09:16	以上です。
1:09:25	すいません規制庁ナイトウですけども、聞いてよくわかんなくなってたんですけど、電源開発さんは、海域のリース系はどう特徴を持ってDF金特徴とアウトしてるんですか。うん造成する話で言えば、別にcf系でも、
1:09:45	CSPで政府系でも、
1:09:49	おかしくないような気もするんだけど、内容をもってdF系だと決めて、
1:09:59	はい。
1:10:00	これまでも何回も御説明させてもらっていますとおり、
1:10:05	まず層厚
1:10:07	計層厚という通り負担の連続性海に行くと少し多少NESW方向に損なってますけれども、連続が認められると、あと傾斜方向は利益円高でも規模の大きなものについては、基本的に南側傾斜。
1:10:22	変数は南側落下
1:10:26	という特徴は共通ですので、
1:10:28	同じ断層としております農SF2との比較については、先ほど申し上げましたように、会議のdF断層系というのはいや私は左横ずれ成分ありますけれども、正断層成分を十分ございますので、
1:10:43	ほぼ横ずれのSF2とされつつあるできるというふうに考えております。
1:10:52	規制庁のサグチですけども、例えば先ほど少し紙の
1:10:58	確認事項と関連するんですけど1点ちょっと教えていただきたいんですけど、本編の200Aと2の報告14ページの反射本解釈なんですけど。

1:11:10	それで、今、要はTn直変位量としては大体 50 メーターぐらいですと、
1:11:18	2Fですね、DF今までDF閉と呼ばれて帰ってくるのもあるんですけど。
1:11:25	そうすると、これまで多分一覧表で出されているか、あのボーリングで確認
1:11:35	されている見かけの鉛直変位量の中では、今回多分これって、それを超えるものだと思うんですけど。
1:11:43	ね、それプラス、本店の 2-40 ページで示されている。
1:11:52	とか、海域の
1:11:54	これまでDF言えとされていたりとか今後 10 年で右側にあるとこなんですけど、これと新聞の送受ってというのが当然あって、これを
1:12:06	この平面図上は切っていて、これ
1:12:11	平面図なので、
1:12:13	左横ずれにも見えてですね。
1:12:16	しかもその
1:12:19	差が大体これ 5050 メーターぐらいですかね。
1:12:23	こういう
1:12:24	要は、結構なってくるかなと思ったんですけど、この関係っていうのをちょっと教えていただけますでしょうか。
1:12:36	はい。電源開発のモチダです。
1:12:40	今御指摘のあったの 2-40 ページのこの会議の話で申し上げますと、
1:12:45	この辺り海域のその傾斜がですね大体 10 数と、
1:12:50	南西方向に傾斜しております。
1:12:52	それと南西方向に傾斜しているものがこの断層の走向で正断層的にずれますとですね。
1:12:58	大体単年度で考えますと、鉛直でいただいた 10 数メートルずれると
1:13:04	横方向には見かけ上、
1:13:06	やはりずれて 50 メーターぐらいですかね。
1:13:09	ずれ得ることになりますので、支給額で示してますように左横ずれ成分が多少入ってると思いますけれども、基本的には正断層センスでもこれ見かけの横ずれ変位というのは出てきますので、基本的には正断層センスであるというふうに考えております。
1:13:26	のサグチですけども、いずれにしても、まあそういったものもあるんだけれども、基本的にはその正断層センスのものが卓越していますが、そういう御説明でよろしいですね。
1:13:42	電源開発のモチダです。その通りでございます。
1:13:47	サグチですけども、ありがとうございます。

1:14:03	すみません、規制庁の伊藤ですけども、核熱短絡等海側ってさっきの
1:14:12	60ー50mぐらい決定ですね。
1:14:19	マックスの
1:14:21	うん。
1:14:22	よくわかんないの補足の 3ー39 ページ見つから海に向かって変位量が減少するって言ってたけど、
1:14:32	今期の所降っているふうん。これは陸域に入る。
1:14:41	いうふうにIT化は 10mぐらいになっていて、陸域側、当落ち 100m超えるという形になってたけど、
1:14:50	タニ
1:14:52	はい、向かって変位量が減少してるわけじゃなくて、
1:14:56	SCSKを挟んで変位量が大きく違うっていうんだったらまだわかるってくるこれって何をもってIPO海水量が減少してるんです。
1:15:15	電源開発の新井でございます。これは 3 の 39 ページの図を見ていただいてそこに ΔH という形で変位量が書いてあるんですけども、その海域の不単純にその絶対値の数字を比較すると、そういう変化の傾向があると。
1:15:33	いうことを書いてあります。
1:15:36	いや、すみません、規制庁ないですけども、これで絶対値を見ると、
1:15:41	ITの陸域のほうは有意等、
1:15:48	本気に向かって変位量増えてるよね。
1:16:01	そこしか読み取れないんだと。
1:16:17	じゃ、
1:16:18	出るんだっていう急激に
1:16:21	変わるんじゃないの。
1:16:22	これ電源開発のモチダです。これで爆風ただいまのナイトウさんの御指摘指摘だとえと陸域のところでも、どういうふうに向かって、特にこの黄色いところある 18 のところが変起きないかっていう
1:16:40	ことだと思います。これについてはこれまで何回か何回もXX'断面という南北方向の断面、
1:16:48	御説明しまして
1:16:50	ちょっととしましては、
1:16:52	資料で申し上げますと、
1:16:54	本編の
1:17:00	本編の 1ー28 ページですね。

1:17:04	これ従来御説明しますとおり、こういう右のほうにピンク色でされておりまして、こういった硬い感じ班がですね、そういうところに比較的厚くあるということで、こういった断層形状の違いですね。
1:17:18	経常といいますのはこの見かけ上は変異変位量とか、
1:17:23	あと層厚少し違ってくるとかっていうところに少し関係するんじゃないかなというふうに思います。それまで一切とか断層当部関係かってそこまでちょっと言及できませんけれども、
1:17:33	そういった断層の形状の違いにこういったものが関係するんじゃないかなということ。
1:17:38	規制庁までそんなこと言ってるわけじゃなくて、陸域のやつを、
1:17:43	Z等、一番右に移っていると。
1:17:47	ならないようにして、
1:17:50	86号炉本当有効とか59ってまたは5170m台あってくんですよ。
1:18:01	陸域のこのボーリング坑で確認しているページはわかって、
1:18:08	っていうようにしか見えない。
1:18:10	はい。
1:18:11	で、なんだけどでかいといった10mタイプかなっていう堤防ということで、これなんぼで頼む基づいて会議部会整備検証してます。
1:18:23	はい。
1:18:25	電源開発のアライでございます。とですね会計に向かって変位量が減少してるっていうのは、陸域のほうもまず深いところから浅いところに向かって／回路からオレンジ色に
1:18:42	変位量が減少しているというのをさ、最初にできるだけとらえた上で同じ深度で同じくらいの振動標高で比べると、このオレンジ色のところから左に青色に
1:18:58	変量から検証してるってそういう意味です。ちょっと表現が足りないのかもしれない説明が足りなかったかもしれませんが、そういう比較すると、
1:19:09	陸域から海域に向かってそういう変量が減っているということを意味しております。
1:19:18	有効かなかったんだけど、陸域と海域では併用に差があるってこと言ったって、
1:19:25	別に、
1:19:26	本所減少してるわけですよ。
1:19:31	はい。
1:19:35	逆に、陸域辞めるとオレンジねずみ遠いというのも、
1:19:39	35から50とか言っているに向かって増えていくよね。

1:19:50	電源開発のモチダです。
1:19:54	この陸のほうで言いますとファイルところが変位が大きくて浅いところに行くとき浅部に向けた変位量減少っていう赤い矢印が上に見えますけど。
1:20:05	買い取っからそういうところに向かってが減るっていうのは、陸域の傾向でございますので、
1:20:09	今おっしゃってる人増えるとおそらく深いほうのフローを見られていると思いますので、まず基本的に理解を深めるとかそういうところで変位が減っていく傾向あります。
1:20:20	それと、好み通り区の量の差については、基本的に見届けてこい下がるということを書いてる図でございまして、
1:20:29	減少する正確
1:20:32	現象がですねどうだということまではこれ研究しておりませんので、一応こういう違いがあったということで示してる図でございます。
1:20:44	ここに記載を直してもらえばいいんだけど、事実確認としては、だから陸域は閉深部から浅部に向かって変位量が減少していきますと、この走向だと思っただけ、陸域リングと、これも、
1:21:01	海に向かって変位を増えてるっていうね。
1:21:07	それは事実としてそれでいいですか。
1:21:09	。
1:21:27	電源開発の新井でございます。ご指摘の内容がよくわかりました。この矢印が矢印の根元から矢印の先に向けての変化を記載したつもりなんですけれども、ちょっと誤解を生むところがありますので、記載を修正させていただくようにいたします。
1:21:44	いや、学生の数が多いんだけど、事実関係としての部分でこのボーリングコアによる変位量、メルト申告があったし、にわたって 50mとかそのぐらいのやつから 100m規模まで増えていっていうと、
1:21:59	浅部のオレンジのやつを 35mから 50m傾向になってるから海に向かって変位量は増えているっていう事実的にですかというその確認なんですけど。
1:22:16	。
1:22:17	電源開発のモチダです。
1:22:20	ちょっとこの図面の中で待機迎えて表現が少し誤開漏れてる形もありますが、基本的に陸の中の話。
1:22:27	考えてこの理論の赤の海に近い部分を上げる動きっていうことですね、特に国家海に向かって増えていくということではございませんないというふうに考えております。

1:22:41	データがないところが話をしてるんじゃないくて、データを見る限りにおいて海に向かって増えてるっていうデータをどう解釈でいいですかって事実確認してるんだけど。
1:22:58	はい。
1:23:01	展開しながらでございます。ご指摘の通りでいいと思います。ただ私の矢印書いている場所がそこに一応聞いてなかったんですけども、その辺をちょっと正確に表現するようにしたいと思います。
1:23:27	やっぱり今回でいうと、
1:23:31	分けてあること。
1:23:34	それは、
1:23:39	Fkもらって、すみません、ちょっとよろしいでしょうか。もう一つちょっと違う。先ほどご指摘のあった件に関してなんですけれども、
1:23:48	ちょっと3の39ページが今議論になりましたので、もう少し御説明させていただきたいと思います。
1:23:55	一つはですね先ほどの反射の断面、
1:23:58	本店の2-64ページ。
1:24:01	を見ていただきますと、そこに日Faと考えられる断層が書いてありまして、IT-66-
1:24:12	とそれからS-624校二つボーリングを通過するように書いてあります。それぞれがこの今3の39ページに、
1:24:21	ボーリングが二つ書いてありまして左一番左端がS-624校、一番下にある白丸になってる。
1:24:31	ところがIT-66-以降ですね。ITB66年以降では得て有効な鍵層が認識できていませんで、変位量がつかまえていません。
1:24:43	それからS-624項のほうは、鍵層があってですね、これは一覧表にも整理してあるんですけども、見かけ鉛直変位量は10mというふうに評価しております。これはあのボーリングのデータからそういうふうに評価できると。
1:24:58	いうふうに考えておりまして先ほど
1:25:01	タニさんの方から御指摘ありました。参考の断面の辺りの変位量と比べると、何か合わないのではないかと反射法の断面が50mというのは大きいのではないかというふうな適性等の方からは反射法で見るとこういう絵になりますということととりあえず書いてますということなんです、
1:25:20	えっとボーリングのデータによると、こんなに大きくはないだろうというのがそういう形態になっておりますので、正確にちょっと反射法の面を正確に書けてないところがあるのかなというふうに考えております。

1:25:37	以上です。
1:25:43	続いて、
1:25:51	今の話を聞くと、つまり列島反射法の断面に持ってくることへの仕方だとかで正確に総務部長面ってというのが、
1:26:05	ここ、この位置ではないかもしれないというような話だと思うんですけど、これちょっとですねモース硬度今後断面例えばSFを強化とかに使われている。
1:26:17	もうであればですね、このちょっと正しくですね、どう、この断面図上でどう書くのが正しいのか或いはこれわからないところなのか、正確ではないのかっていうのですね、ちゃんと
1:26:32	端面を適正化してもらわないといけないなというふうに今思いましたけどいかがでしょうか。
1:26:46	電源開発の加藤でございます。差し替えですね二つの手法ボーリングとそれから反射法と二つの異なる手法での比較ですので、その辺はですねちょっと整合性を見まして、もうちょっと議会し得るSBOですね、修正したいと思います。
1:27:05	うん。
1:27:08	はい、検討をお願いします。
1:27:25	SPDSですか。
1:27:28	です。
1:27:29	シーム。
1:27:34	はい。
1:27:35	はい。
1:27:37	そうだとかそれ鉛直で鉛直で 10m出したら、何かちょっとすごく条例 50 名行っちゃうっていうだけの
1:27:46	政府が計画
1:27:50	それから、確か本来そうだなと思う。
1:27:55	中間報告というところの補強こと。
1:28:00	学情さんに本番というのは、
1:28:06	これからけど。
1:28:08	そうそう、長さが傾いているのはこれで終了し、
1:28:15	だから、こここういうものがね、これが起きたら、この先、
1:28:21	こうなったら、
1:28:23	もしその先、
1:28:27	やっぱそういう話です。
1:28:33	規制庁さんです。

1:28:35	もう一つのコメントのほうですね。
1:28:38	当初の中にFa断層の変位変形がおよんでないっていう話にも 80 ページお願いします。
1:28:47	これもう
1:28:49	うん、こちらと、事業者さんの考え、合致してるとは思うんだけど、私どもが例として挙げたその
1:29:00	赤褐色に参加してるようなところですよ。
1:29:04	こういったものについて、そのほかの確認地点のボーリング孔等踏まえて蛇的な広がりがないのかっていう確認の仕方を介護ではさしてもらったので、その点ですね、
1:29:22	資料の該当ページ見ればわかるというのは、私どもの認識はしてるんですけど、この 80 ページのところにですね、その辺は
1:29:32	ちょっと文章として追記しておいていただけたらと思うんですが、いかがでしょう。
1:29:45	電源開発のモチダです。今高橋さんの御指摘踏まえてですね、広がりがないということがわかるような文章表現を追記いたします。
1:29:52	。
1:30:00	はい、ではその点をお願いします。
1:30:05	はい。
1:30:09	ごめんなさい。時手前ですけども、今のやつで、この褐色のやつのがりがないっていうこと。
1:30:16	ですか。
1:30:17	いや、皆さんの主張がよくわからないんだけど。
1:30:21	これは何をもってA断層の延長部として検出したというものではないとして、そこがよくわからない。
1:30:33	そこを明確に否定できないんだけど、これADS平和を果たそう途中で選別しているっていう話であって、十二、三万年以降の指定ができないんだけど、
1:30:44	何をもって、これはdF系事例でもいよるものではないとしてるんですか、そこは、これはとして抱えてなくて、
1:30:55	この明確にちょっと教えてもらえませんか。
1:31:00	電源開発のモチダです。
1:31:03	今回の資料でもいろいろ書いてございますけれども、基本的にこの罰則になってるっていうのはでき、
1:31:10	でございます。

1:31:12	大型層のこの業界することの中には大小様々な大きさのできれば減っておりまして、
1:31:17	そういった歴として含まれる前に参加していた火山碎屑岩が赤くなったものがあって、それがコロコロ転がって利益として入ってきてますので、
1:31:26	ですから横に広がるようなものでもないですし、広がりとしてはなかなかその一定のように思っているものではないっていうふうに解釈しておりますので、その部分、2を8ページについては、たまたまこの断層の延長付近の初の中にそういった加速できるか。
1:31:41	排気だということでございますので、
1:31:44	断層ではないというふうに考えております。それとできるだけじゃなくて、カ年ですねはその下面、
1:31:51	あの南側落下ではないん。
1:31:53	変形がないというのは群列ボーリングで確認できておりますので、そういったことでdF断層A断層ではないというふうに考えております。
1:32:11	規制庁ナイトウですけれども、褐色の変質そうしたべきかを果たそう途中に多数他のところでも認められることで、これはTf系の影響のものではないといった、これホームページにちゃんと書いてもらえませんか。資料をつけて、
1:32:28	そっちですよ、説明。
1:32:31	必要な我々の
1:32:33	コメントに対して、
1:32:35	説明が必要なのか、データも含めて、
1:32:39	そこを説明できないんだったら我々はこれは発注のところもう途中で先月する可能性が否定できないとしか判断できないんだけど。
1:33:13	今御指摘電源開発のモチダです。
1:33:16	今の御指摘の点で私が先ほど申し上げたことっていうのは、補足資料のほうにですね。
1:33:22	3の70とか71とか、
1:33:29	例えばその70ページですと、これ加速でき、
1:33:32	PFMの延長でないところはその中のものですね。
1:33:37	断層の延長じゃないところにも効率的かぽつぽつ入って、
1:33:41	それはこのこれらの活動履歴は陸上の噴出物があつてね、ご紹介でございますけれども、別記としてその取り込み堆積してもらうようなことからお声を加速的にはTpflに關係するものではないと判断するっていう
1:33:55	最後でございますので、
1:33:57	こういった表現ですね、もう少し肉付けをして、

1:34:01	本編の中で期待できるようにしたいと思います。
1:34:18	規制庁とですね。
1:34:19	ちょっと関連して教えて欲しいんですけど、例えば本編の 79 ページにも 50m 付近にも似たような赤褐色の参加へんし提出したようなところも見受けられるんですけど。
1:34:34	49.6m 付近のところを見ると、結構その赤褐色した部分とそうじゃない部分でシャープな面斜面たりするんですけど、これってできる部分が大体なってるっていうそういうそういう認識でしょうか。
1:34:54	はい、電源開発の本村です。はい。こういった昨日表面が平滑なところは、面として見えているということだと思います。
1:35:02	はい。
1:35:03	はい、回答は承りました。
1:35:16	はい。
1:35:17	はい。
1:35:19	全体っていう
1:35:21	じゃあ、
1:35:28	北海道さんの下の方をして、
1:35:32	うん。うん上げるぞ両側あります。
1:35:38	地方
1:35:40	例えば、
1:35:43	はい。
1:35:45	規制庁タガミです。そしたら入れ替えのヒアリングであったんですが、一番最初に議論させてもらったように、
1:35:54	やると海域の海域でdF系って言ってるものと陸域で理学系って言ってるものが事業者さんとしてはもう
1:36:07	対応するようなものではないという整理されているっていうふうに設置させております。説明聞いたんだけど、すみません、規制庁の荒川ですけれども、まずはdF系のの話については、排気無意味帰ってるものについてはナンバリングで繋がるものではないということであれば、
1:36:27	その資料構成にまずしてください。図面とかも含めてね。そのうえで繋がるものではないんだけど、
1:36:36	いや同じdF系なんですって説明をするにあたって、データは回答が陸域へこっちゃってDFへ上り入力いただいてましたということによって変わっている違いがないとしてののか全然わからない使用上示せない、そこはちゃんと整理をして示してくださいそれがないと我々議論できない。

1:36:58	Plusその部分について書いてるところについては、ちゃんと正断層センスが卓越すると、もうちょっと整理をして説明をさせてもらった形では左横ずれセンスを伴って正断層センスがここを使うということについてを
1:37:16	これSF
1:37:19	むしろですね。
1:37:22	何をもって政府でなくて、DFてるのかってのが今の資料と全然読めないの、そこまで皆さんの主張がわかるような形で資料構成してもらいたいんですけれども、よろしいですか。
1:37:37	はい、電源開発のモチダです。承知いたしました。資料構成整えてですね、準備したいと思います。政府系との違いについてもですね、先ほど申し上げましたような政府には、あくまでも横ずれということがわかってそのときから、
1:37:53	正断層センス主体の理由とは違うということはわかるようにできてかけたいと。
1:37:59	うん。
1:38:01	もう
1:38:04	はい。
1:38:06	設置
1:38:09	なるほど。
1:38:12	規制庁タガミです。それとの知恵と波食変質したようなものの整理の部分も加えていただいている。もう1回ヒアリングさせていただけたらと考えます。
1:38:25	それでも
1:38:28	ヒアリングはこれで終わりにしたいんですが、事業者さんもよろしいですか。
1:38:35	ヒアリングのほうは、今日の議論、
1:38:39	十分に理解しましたのでちょっと中で、もう少し整理してですね、あと資料整理をまとめてわかりやすくしたいと思います。
1:38:49	はい、では交流で本日のヒアリングを終わりにしたいと思います。